

学校通信



喜多見



No.6 令和7年10月30日

喜多見の学び舎
世田谷区立喜多見中学校
校長 紺谷 祥一〒157-0067 東京都世田谷区喜多見4丁目20番1号 TEL 03-3417-4971(代)
E-mail : dai131@setagaya.ed.jp http://school.setagaya.ed.jp/tkitami/

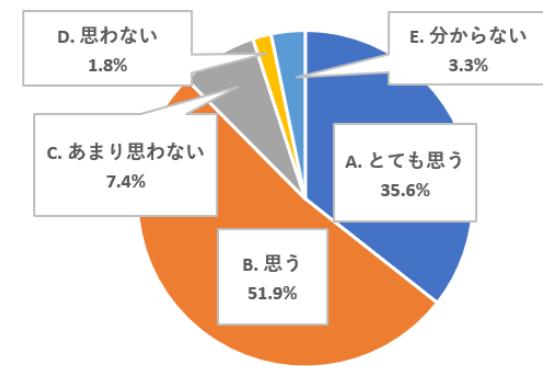
“ユニバーサルデザインの心”

校長 紺谷 祥一

ユニバーサルデザインとは、誰もが使いやすく、安心して暮らせるように工夫されたデザインを指します。障がいの有無、年齢や性、言語などに関係なく、すべての人が平等に使えるように考えられたものです。つまり、「自分だけが使えればいい」という発想から脱け出し、「誰もが使えるようにしよう」という思いやりの気持ちから生まれています。その起源を調べてみると、1985年ごろにアメリカの建築家で工業デザイナーである、ロナルド・メイスがこの言葉を広めたとのこと。そして、メイス自身もポリオによる脚の不自由を抱えながら、「すべての人のためのデザイン（Design for All）」をめざしていたことを知りました。このDesign for Allの考え方は日本でも注目され、1990年代後半から徐々に家電製品や交通機関を含む公共施設、また、教育の分野等でも具体的な形となって取り入れられています。

教育分野におけるユニバーサルデザインとは、「すべての子どもが学びやすい学習環境や授業を設計すること」を指し、これもアメリカで提唱された考え方で、UDL (Universal Design for Learning)と教育現場では略されます。UDLの考え方と目的は、一つの同じテーマや課題について「見る・読む」(視覚)、「聞く」(聴覚)、「体験する」等、異なる複数の手段で必要な情報を伝え学ぶ、「誰にとってもわかりやすい授業」です。「喜多見の学び舎」での職員研修でも、「一人の子どもも取り残さない」という区の合言葉のもと、特にICT機器の効果的な活用方法から細かいところでは配布プリント等での配慮(UDフォントの積極的導入)等、特別支援教育的な視点を入れた授業づくりをテーマにしています。発達障害のある児童生徒も教室で安心して学習に取り組めることをねらいとしています。しかしながら、こうした視点で展開される授業は、学習に困難を抱える子どもだけでなく、結果としてすべての子どもにとって一層わかりやすい授業になるというメリットがあります。そして、「学ぶことが楽しい」と感じるなど、学習意欲の向上や自己肯定感の育成にも繋がることが期待できます。

先生は、映像やタブレットなどのICTを利用し、
分かりやすい授業をしている。



さらに、UDLの考え方は何も授業に関することばかりではありません。たとえば、学級の中で誰かが困っていたら優しく声をかけたり、さりげなく助けたりすることも“ユニバーサルデザインの心”とも言えると思います。誰もが安心して過ごせるように、互いに思いやりをもって生活することが、ユニバーサルデザインの本当の意味のはず。UDLの実践を通じ、こうした言動が自然にあふれる「喜多見の学び舎」をめざします。

令和7年度学校評価 関係者等アンケート調査の回答依頼

世田谷区では、すべての区立小・中学校において学校の自己評価、学校関係者評価を実施し、学校の教育活動や学校運営などの改善・充実を図り、より質の高い学校教育の実現を目指しております。

今年度より各校が独自の質問項目を用意してアンケート調査を実施します。ご協力についてお願いします。

【今後の予定等】電子回答となっています。

1 依頼の日：令和7年11月 7日（金）※紙面とすぐーるにて依頼します。

2 回答期限：令和7年11月20日（木）まで（地域の方の回答は25日まで）

3 回答方法：URL又は2次元バーコードから回答をお願いします。

***回答率100%をめざします。本アンケートは子どもたちのためのもの。ご協力をお願いします！**

各学年およびE組の生徒たちの活動の様子をお伝えします

1年生の様子から（三津間響己）

入学して初めての合唱コンクール、1年生は実行委員やパートリーダーを中心に試行錯誤したり、3年生の合唱を聴かせてもらったりして、一生懸命取り組む姿がありました。3年生の合唱には圧倒される生徒も多く、「先輩のようにかっこよく歌えるようになりたい」と言っている生徒もいました。憧れを抱くことは素晴らしいことです。ぜひ2年後、後輩たちから憧れられる先輩になってもらいたいです！



当日は朝から緊張している生徒もいましたが、壇上では一人一人真剣な表情で元気よく歌っている姿が印象的でした。クラスごとの個性が表れおり、それぞれが自分たちの思いを表現することができたと思います。

互いを尊重し認め合いながら、全員で合唱を創り上げた経験と得られた達成感を忘れずに今後の学校生活を送って欲しいと思います。日々着実に成長している1年生、これからも温かい応援をよろしくお願ひいたします！



教室で円陣を組み本番へ！

2年生の様子から（村上正樹）

合唱コンクールを終え、練習の日々を振り返ると生徒たちの成長を感じる場面が多くありました。練習では、実行委員をはじめ指揮者や伴奏者を中心にどうすればより良い合唱になるのかを話し合い、互いに励まし合いながら試行錯誤を重ねてきました。最初はバラバラだった歌声も、回を重ねるごとに響き合うようになっていく様子が頼もしく感じられました。

本番当日、ステージ上で仲間の歌声に耳を傾けながら一生懸命に歌う姿には、これまでの努力の積み重ねが表っていました。合唱コンクールで流した涙には、喜びの涙もあれば悔し涙もありましたが、大切なのは結果そのものではありません。みんなの心を一つにして仲間と支え合いながら努力を重ねたその過程です。

今回の経験で培った協調性や思いやりの心を、今後の学習や学校生活でもつなげていってほしいと思います。

3年生の様子から（漆沢伸一）



修学旅行（10月15日～17日）は3年間の集大成ともなる行事です。1年生の移動教室、2年生の校外学習で培った経験を活かす機会です。実行委員が掲げたスローガンは、「楽学全力」～我が修学旅行に一片の悔いなし～でした。この3日間で印象に残ったのは、生徒たちの楽しそうにしている姿でした。修学旅行では上手くいったことも、上手くいかなかったこともあります。それぞれを自信と課題にして、卒業までの学校生活をすごしてほしいと願っています。

合唱コンクールも終わり、いよいよ進路選択となります。3年生として果たした責任を大きな自信とし、今度は一人ひとりがそれが自分の目標に向けて日々努力を積み重ねていきましょう。

E組の様子から（番場智幸）

金木犀の優しい香りとともに、肌寒い日が続き冬の訪れを感じ始める今日この頃です。ついさっきまで半袖を着ていたのに…、と思いながらもうすぐそこに年末の気配を感じ、時の流れの早さを痛感しております。

さて、今月号は3年生特集になります。10月15日（水）～10月17日（金）の2泊3日、修学旅行がありました。1日目は奈良巡り、東大寺や法隆寺を見学しました。奈良公園では鹿せんべいを買った瞬間から鹿が集まってきて、あっという間に包囲されました。鹿が去ってから感想を聞くと「お腹を噛まれた！手がベトベトだ…」と言いながらどこか嬉しそうな表情を浮かべていたのが印象的でした。2日目は公共交通機関を使い、3日目はタクシー移動での京都市内巡りをしました。歴史のある寺院仏閣を巡り、その歴史を肌で感じました。事前準備の段階から、相談をしながらのコース作成。役割分担をして昼食の予約を。宿舎では班長会への参加や明日の予定を確認するなど、助け合いながら協力して行動している姿がとても印象的でした。楽学全力というスローガンのもと、全力で楽しみ、全力で学び本当に頑張っていました。ここで得た学びを、進路や残り約5か月の学校生活で活かしてくれることを期待しています。



加瀬 義行 先生（1年副担任、理科担当、本校1年目）の授業では、いつも温かい眼差しが子どもたちに注がれながら展開されます。思わず引き込まれる語り、大きな黒板の文字、分かりやすい絵や写真、そして、全身を使ったジェスチャー…。先生は、若手の先生たちの先生でもあります！

私は今、主に1年生の授業を担当していますが、理科に関する生徒の様子を見ると、身の回りの自然現象に対しではある程度の興味・関心をもっているものの、理科の授業に対しては苦手な意識をもっている生徒が少なくないと感じました。そこで私は、生徒に少しでも理科の授業の大切さを伝えていければと思い、今授業で学習している内容が身の回りの自然現象との間にどのようなつながりがあるのか、将来どのように役立っていくのかを気付かせながら授業を進めるように意識しています。また、毎回の授業の最初に前回の学習内容や板書内容の記述の状況を確認しながら、基礎的な知識・理解を定着させ授業内容が理解できるように、そして定期的に演習問題を行った後に単元の復習を行い、生徒が授業にしっかりと取り組むことで、「わかった」・「できた」という成果を感じることができます。

理科は、生徒が「なぜ」や「どうして」という課題や疑問を抱くことが多い教科であると考えています。だからこそ、生徒たちがこれからの様々な変化が予想される社会をたくましく生き抜いていくための資質・能力を身につけていくためにも、理科教育が果たしていく役割は大きいと考えています。



「わたしのきたみち」の今月号は、小川 先輩（R6卒業）からのメッセージです。サッカー部では主将として、また、学級では明るいムードメーカーとして活躍した小川さん。どんな時も、責任感と前向きに楽しもうとする強い意志を感じさせる姿がありました。



こんにちは！狛江高校1年の小川です。高校生活の様子を少しお話ししたいと思います。

狛江高校は文化祭や体育祭の規模がとても大きく、毎回とても盛り上がります！行事ではクラスみんなで協力して準備をしたり、思いきり楽しんだりと、高校生になった実感が湧く瞬間がたくさんあります。普段は勉強も部活動も忙しいですが、仲間と励まし合いながら両立できるように頑張っています。

喜多見中で過ごした3年間は、自分にとって本当に楽しい時間でした。喜多見中は喜多見小からそのまま上がる人が多く、仲が良い雰囲気の中で安心して過ごせました。友達と一緒に勉強したり、部活で切磋琢磨したりする中で、たくさんの仲間ができたことが今でも大きな財産です。高校に入って感じたのは、周りが同じような学力をもっているので、より一層勉強を頑張らないといけないということを実感しました。

最後に、後輩のみなさんへ。私はどちらかというと後から追い上げるタイプでした。だから、今の成績が思うようにいかなくても、気にせず努力を続けてください。勉強は積み重ねが大切だと思います。そして何より、高校生活はとても楽しいです！今のうちにしっかりと準備をして、自分の目標に向かって頑張ってください！

行ってきました、修学旅行 3年生 2泊3日 京都・奈良（10月15日から17日）

合唱コンクール直前の忙しい日程の中、3年生は仲間と協力しながら充実した三日間を過ごせました。初日の奈良では、事前に学習したことをもとに熱心に「本物」と対面する横顔は満足気でした。二日目および三日目の班別行動でも、限られた時間の中で声をかけ合い、トラブルにも落ち着いて対応するなど、成長した姿が印象的でした。スローガン、『 楽学全力～我が修学旅行に一片の悔いなし～』の精神が、どの場面にも色鮮やかに感じられる、心に残る素晴らしい修学旅行となりました。（職員室前に、当日のスナップ写真を掲載しています。ご来校の際に是非ご覧ください！）



第75回 世田谷区陸上大会 喜多見中生、今年も躍動する！

2日（木）世田谷区立中学校陸上競技大会が開催されました。本校からは36名がエントリーし、各自が精いっぱい頑張りました。今年度も総合成績では入賞は果たせませんでしたが、昨年度を大幅に上回る、5つの種目で入賞を果たすことができました！代表選手たちは体育科の3名の先生たちはもちろん、陸上部指導歴30年以上の山地先生の熱い指導や朴先生の温かなサポートを受けながら、事前の練習から当日の全力を出し切る姿まで、主体的によく取組んでいました。トラックで名前がコールされるやスタンドから仲間を鼓舞する声援が一番大きかったのは喜多見中。校長として、鼻高々でした！保護者の皆様には、練習を含め本活動にご理解いただいたこと、またお弁当の手配等のご協力について感謝申し上げます。



5名の入賞者とその記録

加藤さん	女子共通 走高跳び 1位 (1m35cm)
佐藤さん	女子共通 走高跳び 4位 (1m30cm)
山本さん	女子共通 走幅跳び 4位 (4m09cm)
酒井さん	2年男子 1500m走 8位 (4分45秒)
徳永さん	2年女子 100m走 8位 (14秒20)

健闘を称えます。おめでとう！！

一味伝声～歌声で届ける～合唱コンクール 成功の裡に幕を閉じる

10月25日に開催された合唱コンクール。体育館いっぱいに響き渡った歌声は、どの学年もそれぞれの「色」をもって心を一つにした素晴らしいものでした。1年生は初めての舞台に緊張しながらも、仲間と声を合わせる喜びを感じ、素直でまっすぐなハーモニーを響かせました。2年生は昨年の経験を生かし、より深く歌詞の意味を考え、表現の幅を広げた姿が印象的でした。そして3年生は、これまでの積み重ねを胸に、クラスの絆と想いを込めた熱のこもった合唱で、会場を感動の渦に包み込みました。学年が上がるごとに、歌声の厚みや表現力が増し、まるで色が少しづつ重なっていくような“美しいグラデーション”を感じました。

今回のコンクールを通して、仲間とともに創り上げる喜びや努力の大切さを学んだ生徒たち。その歌声の余韻は、これからの中学校生活の力となっていくことを期待します！



各学年の入賞・指揮者賞

- 1年生 金賞：C組
2年生 金賞：B組
3年生 金賞：A組

指揮者賞

- 2A：藤山さん
3A：板庇さん
3D：山本さん

11月の予定から

- 11月4日（火）新入生部活動体験（⑥カット）
5日（水）区職員研修会につき午前授業（給食なし）
6日（木）**1年生セーフティ教室⑥ ぜひ、ご来校ください！**
学校公開（～8日） ぜひ、ご来校ください！
8日（土）土曜授業日 新入生保護者説明会（ワード参加者募集中！）
11日（火）期末考査（～13日 ※この間給食なし）
14日（金）振替休日
20日（木）リプロダクティブヘルス／ライツ教室（⑥⑥）ぜひ、ご来校ください！
23日（日）3年生スピーキングテスト
27日（木）家庭教育セミナー 落語で学ぶ子どもの権利 13:30～15:30
30日（日）避難所運営訓練（ボランティア募集中！）

リプロダクティブヘルス／ライツ教室

日 時：11月20日（木）

第5校時（13時30分から14時20分まで）：2年生対象

第6校時（14時30分から15時20分まで）：3年生対象

講 師：冬城産婦人科医院 医師 冬城 高久 先生

※学年問いません、保護者の方のご来校をお待ちしています！

11月の相談室の開室日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
		□		○		
2	3	4	5	6	7	8
	文化の日	□		○		
9	10	11	12	13	14	15
		□		○	振休	
16	17	18	19	20	21	22
		□		○		
23	24	25	26	27	28	29
30	振休	□		○		

【担当SC】□：渡邊 ○：高瀬

【場所】相談室は中央校舎1階 保健室の隣です

相談室直通ダイヤル
03-3417-5372